

核兵器をなくそう！ 被爆者を支援しよう！

# 核兵器廃絶 ネットワークみやぎ

核廃絶ネット通信

第6号

2022年

7月6日発行

## 核廃絶 PeaceWave in みやぎ Vol.2



5月22日（日）、「核廃絶 PeaceWave in みやぎ Vol.2」を実施しました。あいにくの雨でしたが、集会中は小雨になったり止んだり、肴町公園の木の下に入ると傘いらずの程度ですみました。

最初に、呼びかけ人ポスターにご協力いただいた鹿野文永さんをご永眠され、黙祷を捧げました。本当に残念でなりません。



開会のあいさつは木村緋紗子代表。20日に被団協で外務省に90万筆以上の署名を提出したこと、本当は広島出身の岸田首相に会ってほしかったという思いを話されました。また、ファンである海老蔵さんが、今同時刻にスカイツリー10周年記念イベントとして、最上ポイントで口上と睨みを披露すること、口上はファンからの投票で第一に「世界平和」を選んだことを紹介しました。

呼びかけ人として、9条の会でもご活躍の東北大学名誉教授の板垣さんにごあいさつをいただきました。田中熙巳さんと東北大学時代に一緒に活動されていたことを紹介された後、ロシアの侵略について触れ、日本での核共有はあってはならない、9条を生かした平和外交をこそ、と訴えられました。



呼びかけ人2人目は若林クリニックの水戸部先生。残念ながら腰痛で来られなくなりましたが、メッセージを送っていただきました。被爆者の方の診療を続けてきてその苦しみを見てきたこと、福島第1原発事故をきっかけに行動を起こさなければ



と市民発電に取り組んできたことを紹介し、禁止条約など歴史が積み上げてきたことを元に戻してはいけないと訴えられました。



決意表明は、新婦人の三田さん。年々広がっている新婦人の平和の取り組みを紹介し、平和の2署名にしっかり取り組んでいく決意を表明しました。

最後に、9日に記者会見をして発表した「いかなる理由でも核兵器による威嚇や使用を許さない」声明を、遠藤



いく子さんが読み上げました。

集会の参加は、27名でした。終了後、仙都会館前までパレードを行い、引き続き平和ビル前で署名行動を行いました。16名参加でしたが、雨が降ってきたこともあった早めに切り上げ、14筆しか集められませんでした。署名はできないけど頑張ってください、と1000円カンパをしてくださった女性がいました。

参加していただいた皆様、ありがとうございました



## 核兵器禁止条約第1回締約国会議 ～日本政府の不参加に批判～

6月21日～23日、ウィーンで第1回締約国会議が開催され、80以上の国や地域が参加しました。オブザーバー参加国には、アメリカの核兵器を配備するNATOの4ヶ国、アメリカと軍事同盟を結んでいるオーストラリアなども参加したのに、日本は参加しませんでした。それどころか、同日程でアメリカと「拡大抑止」について検討する会議を行っていたというのですから、とんでもないことです。ICANのベアトリス・フィン事務局長も、「参加しないのでは橋渡しの資格がない」と痛烈に日本政府を批判しました。また、岸田首相はNATOの首脳会合に参加したというのですから、方向が全くちぐはぐです。残念ながら、広島出身というだけでは何もできず、むしろ核兵器廃絶に後ろ向きと言わざるをえません。

締約国会議は「ウィーン宣言」と50項目からなる「ウィーン行動提起」を採択して、大きな成果を上げました。宣言で「核抑止論が完全に否定」され、具体的な内容を盛り込んだ行動提起で、禁止条約にまだ参加していない国々に働きかけを行い、専門家チームも設置して取り組んでいくことが決定されました。大きな前進です。次回は、来年11月に国連で行われ、条約の推進役を担ってきやメキシコが議長国になります。

第2回までには、なんとか日本政府の禁止条約への参加が実現できるよう、取り組みを広げていきましょう！